

## 品目別レポート（みそ）

### ■品目説明

みそは、蒸し煮した大豆、麦などの穀類に麴（穀類を蒸し煮して麴菌を培養したもの）を加え、これに食塩と水を混合し、発酵・熟成させることによってできる半固体状のものである。

みその種類は麴の原料から米みそ、麦みそ、豆みそ、調合みその4種類に分類される。

みそは、かつて、合成樹脂製小袋（エバール、ポリエチレン、ナイロンのラミネートなど）で流通する形態が過半を占めていたが、近年は軽くて丈夫な合成樹脂製カップ容器の使用割合が増加している。また、これまで主力だった1.0kgサイズが750gサイズに移行した。これは、家庭での使用量の減少、景気低迷による購買単価の低下、原料コストの上昇などの影響によるものである。

全国味噌工業協同組合連合会の集計によると、19年のみその出荷数量は前年比0.1%減の41万193トンであった。国内出荷量は2001年に50万トンを下回り、年々減少傾向にある。

### ■貿易概況

▼表1：日本のみそ輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	7,172,575	4,312	7,746,947	4,599	8,721,031	4,818	12.6	4.8
中国	1,681,785	977	2,321,429	1,248	2,782,074	1,389	19.8	11.3
台湾	2,255,625	893	2,382,457	958	2,390,542	930	0.3	△ 2.9
韓国	2,291,046	1,572	2,299,789	1,565	2,060,610	1,416	△ 10.4	△ 9.5
タイ	1,578,671	1,031	1,695,207	1,226	2,027,817	1,558	19.6	27.1
全世界	29,736,187	16,017	31,885,368	17,010	35,058,126	18,434	10.0	8.4

注：対象はHSコード 2103.90-100

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の輸出額は前年比10.0%増の3,505万ドル、輸出量は同8.4%増の1万8,434トンとなった。金額、数量ともに増加。金額、数量ともに7年連続して過去最高を更新した。

輸出額を相手国・地域別にみると、1位の米国が前年比12.6%増の872万ドルと全体の24.8%を占めた。次いで中国（前年比19.8%増の278万ドル）、台湾（同0.3%増の239万ドル）、韓国（同10.4%減の206万ドル）の順で、北米、アジアを中心に輸出されている。

## ■海外事情

### ●米国

▼表2：米国のみそ輸入量

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	9,831,184	4,494	11,549,590	5,128	12,801,169	5,329	10.8	3.9
台湾	6,060,305	2,102	7,346,751	2,416	8,170,911	2,689	11.2	11.3
中国	7,706,874	2,887	7,021,157	2,791	6,582,499	2,793	△ 6.2	0.1
カナダ	5,501,781	3,945	7,049,759	4,319	4,952,785	3,073	△ 29.7	△ 28.8
韓国	2,656,896	1,360	3,088,473	1,479	3,520,080	1,870	14.0	26.4
全世界	32,771,218	15,119	37,227,197	16,536	37,959,592	16,229	2.0	△ 1.9

注：対象は米国HTSコード 2008.99.9110(2017年～)

(Bean Cake, Bean Stick, Miso And Similar Products, Prepared Or Preserved Nesoi)

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のみその輸入額は3,795万ドル(前年比2.0%増)、輸入量は1万6,229トン(同1.9%減)であった。

主要輸入相手国・地域では、1位が日本で輸入額は1,280万ドル(前年比10.8%増)、2位が台湾で817万ドル(同11.2%増)、3位が中国で658万ドル(同6.2%減)、4位がカナダで495万ドル(同29.7%減)、5位が韓国で352万ドル(同14.0%増)であった。

日本からの輸入は金額、数量ともに1位となっており、日本のみそに対する需要の高さが分かる。一方で、しょうゆと同様にみそに含まれる塩分の高さに関する指摘もあるため、減塩やオーガニックみそなどの普及を進めるとともに、みそに含まれる栄養成分や健康効果を引き続きアピールしていく必要がある。

米国内日本食レストラン向けのみその輸入は、中国などの第三国で生産されたみそと日本産みそが競合している。米国内の日本食レストランは、韓国系や中国系オーナーが経営している店も多く、彼らは出身国から輸入された製品を使用する場合も多い。

日本のみそメーカーが米国内で生産している場合もあり、それらのMade by Japanの商品と合わせると、実際に米国で販売されているみその数量は輸入量よりも多くなる。また、日本企業が中国で生産して、米国へ輸出する場合もあるので、中国からの輸入量に影響している可能性もある。

近年、米国で人気の発酵茶KOMBUCHAやヨーグルト、キムチなどの発酵食品が心疾患予防や体重管理

などに良いとされ研究が進んでおり、みそや麴も注目されている。みそ汁など、みそを使用したメニューは日本食の定番であり、発酵食品ブームでみそが注目されることによって、さらに日本食人気が高まることが期待される。

## ●中国

▼表3：中国のみそ輸入量

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
韓国	16,605,364	8,919	23,353,040	12,472	29,547,183	17,258	26.5	38.4
タイ	17,382,277	9,672	20,384,958	10,575	22,764,822	11,728	11.7	10.9
日本	7,927,249	1,490	10,394,321	1,974	14,623,979	2,891	40.7	46.5
香港	9,081,696	1,955	11,253,905	3,155	14,124,392	4,807	25.5	52.4
台湾	12,780,101	5,057	15,535,877	5,305	13,236,096	5,264	△ 14.8	△ 0.8
全世界	115,750,934	40,129	136,474,480	49,670	153,991,988	59,643	12.8	20.1

注：対象はHSコード 2103.90-90

(Other Sauces, Mixed Condiments/Seasonings, Nes; Other Sauces, Mixed Condiments/Seasonings, Nes)

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年の輸入額は前年比12.8%増の1億5,399万ドル、数量は20.1%増の5,264トンとなった。主要相手国別にみると、1位は韓国で前年比26.5%増の295万ドル、数量は38.4%増の17,258トンとなった。日本は3位で、輸入額は前年比40.7%増の1,462万ドル、数量は同46.5%増の2,891トンであった。

ジェットロ現地市場価格調査(20年4月)によれば、深センの富裕層向け現地系店舗における『マルコメ ダシ入りみそ』300gが25人民元(約402円)、北京のアップーミドル層向け現地系店舗における韓国産500gが19.9人民元(約319円)、中国産赤みそ500gが18人民元(約289円)であった。

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006  
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル  
TEL：03-3582-5186

**【免責条項】**

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。